

(法第28条第1項)

平成21年度 特定非営利活動に係る事業報告書 (第2期)

千葉県松戸市新松戸四丁目 257 番地の 1 ニューホームズ 第 1 マンション 1 階
特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 J ワールド



1 事業の成果

Jキッズは夏祭りに地域の多くの小学生の参加があった。リトミック、子育てセミナーも地域の子育て中の方々に利用された。子育てセミナーで話している「バウンダリー」は千葉県パワーアップ補助金を受けてパンフレットを作ったり、松戸市近隣地域の他の団体に「バウンダリー講座」を開催したりできた。

ユース事業ではドコモモバイルコミュニケーションズから助成金をいただき、ユーススペースやクリスマスのイベントを去年よりも充実させることができた。

さらに千葉県協働型地域活性化事業が始まった。ユーススペースに集まる中高生が香取市の里山の草刈りボランティアを通して農業体験をし、また、地域の里山保存会の方や栗源地域の小中校生との交流ももてた。里山事業は農業体験だけにとどまらず予想以上の効果があった。参加した中高生、スタッフとして参加した大学生ともに、里山の地域の方々に喜ばれ、汗を流して働く喜びと自信から、生きる自信を回復し、将来の希望を受け取った。一方、香取市栗源地域でも歴史ある小学校が廃校になり、活用の目処がなかったが、その小学校での合宿を実験的に活用したところ、今後も合宿施設として使用する道が開かれたことや、あまりボランティアや地域作りに熱心ではなかった地元の交流が活性化され地域作りにも効果をあげたということで香取市の方々からも喜んでいただけた。また、聖徳大学で行った成果発表会では松戸市の子育て支援課の方が来てくださり、中高生の居場所づくりの働きに感心をもってくださいました。

松戸市委託事業おやこDE広場旭町はインフルエンザの流行のためしばらくの間、全てのイベントはお休みする状況になり利用者も少なかったが、1月以降イベント再開とともに利用者も増え、広場が定着し始めている。シニア交流センターでの高齢者との交流ももつことができた。11月のシニア交流センター祭りではJキッズやユーススペースの中高生が歌や踊りのパフォーマンスをして参加し、Jワールドが乳幼児か中高生までの異年齢交流の居場所づくりに力を入れていることを知ってもらえた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の平均人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 子どものボランティア精神を育成するための事業(Jキッズ事業)	子どもの健全な育成を目的とする企画・運営をする。ボランティア活動への参加。	月3回	SRCビル2F 多目的ホール	6人	延べ: 中学・高校生(57名) 小学生以下(466名)	206
② リトミック事業	子どもが心身共に自立した大人になるための企画・運営(リズム体操など)。	月2回	SRCビル2F 多目的ホール	5人	延べ: 未就園児(610名) 子ども達の親を含む	59
③ユース事業	中学生・高校生向けに心の相談室の設立	月5回	SRCビル2F 多目的ホール	6人	延べ: 中学・高校生(1,168名)	1,136
④子育てセミナー事業	バウンダリーについての講演会や研修会を開催。カウンセリングを含む。	月1回	インターナショナル プレスクール ひかりの子	7人	延べ: 松戸市及び近隣の 市民(386名)	151
⑤普及啓発事業	上記事業についてのホームページを開設し、チラシ配布などにより活動内容を紹介。子育てについての意識の啓発。	随時	SRCビル2F 多目的ホール		不特定多数	113
⑥おやこDE広場 旭町(松戸市委託事業)	乳幼児親子の集いの場所を提供。	月12回	シニア交流センター内	15人	延べ: 2,840人	2,830
⑦県協働型地域活性化事業			松戸市・里山	4人	松戸市近辺と香取市の市民301人及びその農山村地域の住民	1,997

計 6,492 千円